



日本の経常収支の推移を問う図表問題が出題

## 共通テスト

### 第1問 問6

問6 下線部①について、貿易や海外投資の動向に関心をもった生徒Yは、日本の国際収支を調べ、その一部の項目を抜き出して次の表を作成した。表中のA, B, Cは、それぞれ1998年、2008年、2018年のいずれかの年を示している。表に関する後の記述ア～ウのうち、正しいものはどれか。当てはまるものをすべて選び、その組合せとして最も適当なものを、後の①～⑦のうちから一つ選べ。 6

(単位：億円)

	A	B	C
貿易収支	58,031	11,265	160,782
サービス収支	-39,131	-10,213	-65,483
第一次所得収支	143,402	214,026	66,146
第二次所得収支	-13,515	-20,031	-11,463

(出所) 財務省 Web ページにより作成。

- ア A, B, Cにおいて経常収支に対する第一次所得収支の比率が一番大きいのはBである。
- イ A, B, Cを貿易・サービス収支額の小さいものから順に並べると、A → B → Cの順になる。
- ウ A, B, Cを年代の古いものから順に並べると、C → A → Bの順になる。

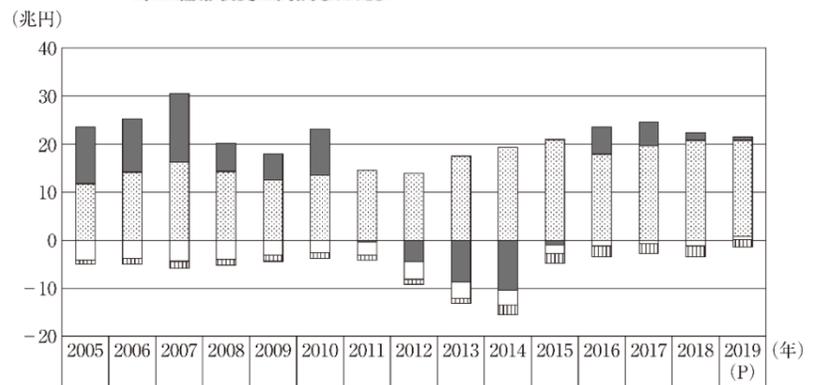
- ① ア
- ② イ
- ③ ウ
- ④ アとイ
- ⑤ アとウ
- ⑥ イとウ
- ⑦ アとイとウ

## 河合塾

### 直前講習／突破シリーズ 共通テスト本番突破テスト 政治・経済 第1問 問4

問4 下線部②に関連して、生徒Aは母と次のような会話をした。会話文を読み、空欄 X ～ Z に当てはまる語句の組合せとして最も適当なものを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。 4

生徒A：今日の「政治・経済」の授業では国際収支について勉強したよ。この図が、その時に配られた資料。これは2005年から2019年の間の日本の経常収支の内訳なんだ。



X Y Z 第二次所得収支

注：Pは速報値を表わす。  
出典：財務省webページにより作成。

- 母：Xは全ての年で黒字となっているのね。これはどうしてなの？
- 生徒A：授業では、海外への直接投資や証券投資の収益が継続的に得られていることが主な要因だと教わったよ。
- 母：ちゃんと勉強しているみたいで嬉しいわ。Yは東日本大震災が発生した年以降、数年にわたって赤字だったみたいだけど、近年は黒字になっているのね。
- 生徒A：そうだね。そうそう、黒字といえば、この図ではZは2005年から2018年の間は一貫して赤字が続いていたけど、2019年は黒字になっているよ。
- 母：本当ね。じゃあ、その理由を夕食を食べながら一緒に考えてみましょうか。

- |   |   |   |
|---|---|---|
| <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">X</span> | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Y</span> | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Z</span> |
| ① 貿易収支  | サービス収支  | 第一次所得収支   |
| ② 貿易収支  | 第一次所得収支   | サービス収支  |
| ③ サービス収支  | 貿易収支  | 第一次所得収支   |
| ④ サービス収支  | 第一次所得収支   | 貿易収支  |
| ⑤ 第一次所得収支   | 貿易収支  | サービス収支  |
| ⑥ 第一次所得収支   | サービス収支  | 貿易収支  |

日本の経常収支は、近年、貿易収支の黒字が縮小傾向にあることや、サービス収支の赤字が縮小傾向にあること、第一次所得収支が大幅な黒字を維持しているなどの特徴がある。河合塾ではこうした特徴を問うグラフ問題を出題した。ここで学んだ知識を前提にすれば、共通テストでの出題にも十分対応が可能であった。